- 1 学校評価アンケート調査対象及び実施期間
- (1) 保護者 …… 令和5年12月に調査
- (2) 生 徒 …… 令和5年12月に調査
- (3) 教職員 …… 令和5年12月に調査
- 2 学校評価アンケート結果から

保護者・生徒・教職員ともに、端末で実施した。

#### (1) 保護者

- 68%の回答率で、前回より4%上がった。
- ・ほとんどの項目で、「(よく・やや) あてはまる」が8割を超えている。特に、「子どもには、いるいろなことを相談できる友人がいる」の項目で、昨年度より「(よく・やや) あてはまる」の回答が上昇した。
- ・「子どもは、いじめを受けるなど困った時に、相談できる先生がいる」の項目で、昨年度同様「(よく・やや) あてはまる」が8割を切っている。また、「子どもは、自ら進んで授業や行事、部活動に取り組んでいる」「おたよりやホームページなどで、学校からの情報はよく伝わっている」の項目で、8割を切っている。

#### (2) 生 徒

- ・96%の回答率で、前回より2%上がった。
- ・ほとんどの項目で、「(よく・やや) あてはまる」が8割を超えている。特に、「挨拶ができている」「いろいろなことを相談できる友達がいる」の項目で、昨年度より「(よく・やや) あてはまる」の回答が上昇した。
- ・「いじめを受けるなど困った時に、相談できる先生がいる」の1項目で、「(よく・やや) あてはまる」が8割を切っている。

### (3) 教職員

- ・100%の回答率であった。
- ・全ての項目で、「(よく・やや) あてはまる」が9割を超えている。特に「生徒の手本となるような、正しく温かい言葉遣いに努めている」の項目は、昨年度、「(よく・やや) あてはまる」の回答が9割を切っていたが、今年度は、9割以上に上昇した。

## 3 来年度へ向けての改善策

- (1) 多くの項目で「(よく・やや) あてはまる」が昨年度より上昇したのは、今年度からほぼコロナ前の基準で学校生活を送ることができるようになったからだと考える。また、今年度、研究発表会を開催し、多くの学校関係者から、生徒が主体的に学習に取り組む態度を褒めていただいた。全教職員で主題研究に取り組み、教師が分かりやすい授業を心がけたり、生徒が自ら進んで授業等に取り組んだりすることができるようになっていると考える。引き続き分かりやすい授業に努め、生徒が意欲的に学ぶ姿を引き出したい。一方、「いじめを受けるなど困った時に、相談できる先生がいる」の項目では、生徒・保護者共に「(よく・やや) あてはまる」の回答は昨年同様、6割程度であった。引き続き、スクールカウンセラーや心の教室相談員、養護教諭など、さまざまな立場の教職員と情報を共有することを続けていく。また、休み時間や登下校の時間などに、教職員も積極的に校内で生徒に話しかけることで、生徒が教師に声をかけやすい状況をつくり出したい。このように、全教職員で一人一人の生徒を見守る体制をつくり、生徒や保護者の安心感につなげたい。
- (2) 学校運営協議会では、「困ったときに、相談できる先生がいる」の項目で、生徒・保護者共に「(よく・やや) あてはまる」の回答率が低いことについて、次の二つのご意見をいただいた。
  - ①声をかけることは大事だが、どのように声をかけるか肝心だ。笑顔で挨拶したり声をかけたりして、相談しやすい雰囲気をつくるとよい。また、気持ちよい雰囲気が広がることで、困ったことにまで至らずに解決し収束することも増えるだろう。
  - ②「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の回答率が高いことが気になる。これは、「大人に相談しても意味がない」と諦めているともとれる。このように回答している生徒がどういう状態であるのか、少し深掘りするとよい。

# 令和5年度 学校評価 保護者





